

様式 4

| 令和 6 年度 第 3 回 富士見市図書館協議会 議事録 | | | | | | |
|---|---|-------|--------|----------------|------|------|
| 日 時 | 令和 6 年 1 2 月 1 3 日 (金) | | 開会 | 午前 1 0 時 0 0 分 | | |
| | | | 閉会 | 午前 1 1 時 2 0 分 | | |
| 場 所 | 中央図書館 レセプションルーム | | | | | |
| 出 席 者 | 委 員 | 出井委員長 | 檜山副委員長 | 小林委員 | 金高委員 | 今井委員 |
| | | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ |
| | | 神馬委員 | 本木委員 | 野澤委員 | 金子委員 | 渡邊委員 |
| | | ○ | 欠 | 欠 | ○ | ○ |
| 事務局 | ○教育委員会生涯学習課 清水主任 ○図書館 長谷川中央館館長 田畑中央副館長 大里鶴瀬西分館長 下川ふじみ野分館長 | | | | | |
| 公 開 ・ 非 公 開 | 公開 (傍聴者 0 名) | | | | | |
| 次 第 | 1. 開会 2. 各館事業報告 令和 6 年度 9 ~ 1 1 月 (中央・鶴瀬西・ふじみ野) 3. 「地域資料の電子化」について (再) 4. その他 (次回開催日程) 5. 閉会 | | | | | |
| 配 布 資 料 | ・富士見市図書館協議会 令和 6 年度 1 2 月定例会次第 ・令和 6 年度 9 ~ 1 1 月活動報告 (中央・鶴瀬西・ふじみ野分館) ・「さざなみだより」2 0 2 4 年 1 1 ・ 1 2 月号 ・「つるせにししんぶん」2 0 2 4 年 1 0 ・ 1 1 ・ 1 2 月号 ・「ぶんちゃんしんぶん」2 0 2 4 年 1 0 ・ 1 1 ・ 1 2 月号 ・「とびらしんぶん」2 0 2 4 年 1 2 月号 ・「BOOK ADVENTURES」2 5 0 号 | | | | | |
| 議 事 内 容 | | | | | | |

| | |
|--------------------|---|
| <p>図書館 委員長</p> | <p>1. 開会 開会あいさつ</p> |
| <p>図書館</p> | <p>2. 各館事業報告（令和6年度9～11月）</p> <p>【中央図書館】 資料に基づいて報告</p> <p>通常のおはなし会、映画会、団体貸出、障がい者サービスなどは報告書の通りである。</p> <p>テーマ展示について。11月に図書館まつりがある関係で、10月11月は2か月一緒の展示であった。</p> <p>自主事業について報告する。 ミニコンサートの9～11月である。本日もミニコンサートがあるが、これまでは土日に行っていたが、今回初めて平日に行く。本日の様子は次回報告する。</p> <p>次に図書館まつりの報告である。</p> <p>「リサイクルフェア」。9時から16時まで開催した。 雑誌の付録は抽選としていたがあっという間になくなった。</p> <p>「消しゴムはんこで年賀状を作ろう！」は、富士見市出身の人気消しゴムはんこ作家、津久井智子さんにいらしていただき、年賀状に使える「巳」のはんこを作った。 津久井さんは子どもの頃はこの図書館にもよく来ていたとのこと。 参加者に知り合いもいて、和気あいあいな雰囲気の中、参加者は上手にはんこを仕上げていた。</p> <p>「バリアフリー映画会 老後の資金がありません」。事前申込制であったが、すぐにいっぱいになり、当日観たいといらした方もいたが、お断りしするほどの人気だった。</p> <p>「カードケースをつくろう工作会」は工程が少し難しく、スタッフがほとんどのパーツを用意し、参加者は組み立てるだけのものだった。こちらも事前申込みで枠がいっぱいになった。</p> <p>「第7回富士見市子ども読書コンクール表彰式」 今年は321点もの作品の応募があり、受賞者12人が出席した。</p> |

POP作品は年々上手になってきており、伝える力がついてきているように感じられた。

「中央図書館30周年記念 図書館のあゆみ パネル展」
中央図書館がこの地に開館して今年で30年であるが、それ以前は富士見市内を移動図書館車が巡回していた。

難波田城資料館から当時の貴重な写真をお借りしパネルに仕立てた。

今回調べてわかった事は、富士見市は埼玉県内でもいち早く移動図書館を取り入れた読書好きが多く集まる地域であり、何代もの移動図書館がこの地域の住民の読書を支えて来た。それでもやはり「図書館が欲しい」という当時の住民の切実な思いがわかった。

「子ども司書たちによる図書館ツアー」は、子ども司書講座に参加した子たちが案内役となり、2グループに分け行った。

子ども司書の皆さんは、とてもハキハキと対応してくれ、参加者にも好評であった。

今回初めて開催した「ボードゲームであそぼう」はふじみボードゲーム研究会に協力をお願いし、参加者の年齢層に合わせたゲームを選んでいただいた。どの年齢層のグループも盛り上がり楽しそうだった。次回へと繋げていきたい。

「開館30周年記念 ビデオで振り返る富士見市立中央図書館」は、ふじみビデオクラブが過去に記録してきた中央図書館にまつわる映像を編集、公開し、中央図書館の歴史を知ってもらう機会とした。こちらにも図書館に関係する貴重な資料の上映であり、事前に今回の上映作品に関連のある方々にぜひ観ていただきたく、お手紙を出した。参加数はそれほど多くはなかったが、来ていただいた方々には大変好評だった。

【質疑応答】

委員

図書館まつりでは、おはなしボランティアあいあいも午前午後とおはなし会をやったが、その報告はないのか。報告がないのは残念である。図書館まつりのプログラムとしても盛り込まれていた。

図書館

ボランティアのあいあいには、おはなしの部屋にて大型絵本を読んでいた。

今回、スタッフの人手が足りず、担当をつけることができなかった。報告書の提出がなく、申し訳なかった。

| | |
|-----|--|
| 委員 | 大型絵本を並べて、来訪者が気になる本を読むものと、午前、午後におはなし会を開催している。私自身、午後の担当だったが、午後の参加人数は親子10組20人くらいでプログラムも絵本、紙芝居、エプロンシアターや手遊びも盛り込んでおり盛況だった。 |
| 委員長 | 午前中も同じことを行ったのか。 |
| 委員 | プログラムも担当者も違う。あいあい中央図書館のボランティアだが、こういった待遇はどうか。担当じゃなかったから知らない、というのは違うのではないか。（後日報告書作成） |
| 委員 | リサイクルフェアについて、去年は入場制限などかなり大変だったと聞いたが、今年はその辺の対応はどうだったのか。 |
| 図書館 | 去年はまだコロナの影響があり、入場制限をかなり厳しくし、その為クレームもあったが、今年に入場制限をなくした。ただ、付録の抽選は先着順だということを知らない方もいらっしゃり、それを明記することが来年度の課題として残った。 |
| 委員 | 雑誌の付録とはどんなものか。 |
| 図書館 | バックやポーチ、カレンダーなど今どきの雑誌の付録は人気が高い。 |
| 図書館 | <p>【鶴瀬西分館】 資料に基づいて報告</p> <p>定例事業について。 おはなし会の鶴瀬西分館の課題として、幼児小学生がなかなか集まらないということがあるが、このところ学童の参加があり30名程度の参加になっている。来年度に向けて学童と日程調整をし、合致するところをみつけていきたい。</p> <p>映画会は奇数月が一般、偶数月が児童向け内容である。</p> <p>団体貸出については、10月11月は読書週間、読書月間ということもあり、つるせ台小学校以外の学校からも依頼があった。</p> <p>学校連携について。つるせ台小学校ひまわり学級の読み聞かせ、ブックトークは毎週金曜日に来てくれている。本を2冊ほど読み、その後本を紹介をし貸出しもする。今年度は9月に、中央図書館に行かれたとのこと、鶴瀬西分館から中央図書館へ繋がった取り組みである。</p> |

図書館YAサポーター交流会は毎月行っている。10月19日はつるせ台まつりに参加した。

つるせ台小学校の昼休み利用が11月にあり、4年生、5年生の来館があった。これより先に6年生が来館している。短い休み時間でも利用できるのは、つるせ台小学校と鶴瀬西分館の特徴をいかした取り組みである。

図書館見学として鶴瀬小学校、つるせ台小学校からの依頼があった。

地域のつるせ台まつりでは、ハロウィン工作として「ハロウィンカチューシャ(3種)」を作った。今回初めてつるせ台ひろばとの共催となり、いつもは図書館スタッフやYAサポーター併せて3、4人の対応で忙しい場面もあったが、今回は余裕があった。

自然あそびのびのびひろばについて。恵愛病院の「のびのびひろば」に来ている方を対象に、鶴瀬西分館は本の読み聞かせなどを行った。

展示について。一般、子育て展示は2ヶ月毎、児童展示は毎月、がん情報コーナーは入口にあるため本が並べられない。代わりにブックリストを掲示しており内容も更新し、館内へ誘導という形をとっている。

自主事業について。

9月は関沢児童館とのコラボを行っている。7月と9月2回セットで行った。今年は2年目なので少し作り込みをした。しかし、ビンゴは関沢児童館と鶴瀬西分館の両方行かなくてはならなかったため難しかった。来年度の課題である。当日は、集会室の中で3、4種類遊びを用意し、来館した子どもたちは全部の遊びをして帰って行った。

歴史講座「鶴瀬地域の遺跡」は、講師を水子貝塚資料館の館長にお願いした。鶴瀬地域では縄文土器など出土している所があり、地図を見ながら、人の流れ、生活を見ることができた。また実際に土器も手に取ってみることができた。

日程が地域のお祭り重なってしまい残念だった。

今回対象を中学生以上としたが、対象を一般講座か児童以上講座か迷った。興味のあるものは年齢に関係なく参加して頂きたいが、言葉にしてしまうと、なかなか上手く伝わらないところがある。今回小学生が参加したいという申出があり、少し難しいかと思ったが、そのお子さんは水子貝塚資料館の講座にも参加しているということで、参加して頂いた。実際知識も豊富で好きな分野だった。この後

の水子貝塚資料館の講座にも参加されるとのことである。中学生、大人の参加もあり、どなたでもという趣旨が叶った。

9月の学校連携について。鶴瀬小学校2年生が図書館見学に来館した。見学内容は学校の希望を聞き、毎年作り込むようにしている。今回は貸出体験をしたいということだった。貸出ではカード忘れ対応や、返却についてご家庭への呼びかけなど、返却が揃わないというハードルがあるが、学校の協力があり返却もスムーズだった。来た時、見た時が読みたい時で、貸出に繋がられた。

秋のガチャ企画「ハロウィントレーディングしおり」について。一つのシートを切り分けて葉を作り、集めると一つの絵になるという仕掛けがある。遊びを取り入れることで、貸出に繋がっており、リピーターが増えるとよいと考えている。

チョコラボ折り紙編「シマエナガ」について。折り紙は人気があるが、準備の手が込んでいたので、あまり多くの募集をかけられないが、ほぼ定員となった。今年度は話題のシマエナガをモチーフにした。参加者に折っていただいたものは一般展示のコーナーに使わせていただく。お友達同士で申し込まれ参加をととても楽しみにしていただいた方がいた。出来上がった作品は12月1月の一般展示コーナーに飾らせて頂いている。

追悼企画として「ありがとう中川李枝子さん」を行った。今回児童文学に長年携わられた方が続けて亡くなり、とても残念である。西分館では中川李枝子さんとせなけいこさんの展示をした。おはなし会やブックトークでも、その作品を紹介したり、読み継がれてきた絵本を紹介したりしている。

地域連携「ハロウィン工作」。先ほどもお話したが、紙で作るカチューシャは、その場でつけて歩くことができる。魔女、悪魔、猫の3種類を用意した。女子だけでなく男子の参加も多かった。YAサポーターは、試作品作成にも携わった。

ビブリオノヴァ「想像力を刺激する大人のための絵本深読みワークショップ」。今回のテーマは多様性で、18歳以上が対象。大人に絵本の魅力を再確認してもらえる講座である。この講座は12月21日にキラリ☆ふじみで行う「ある晴れた夏の朝」の前振りにもなっている。多様性、戦争、平和をテーマにしている劇であり、当日は鶴瀬西分館も資料展示で参加する。広く多くの方の目に触れてもらう仕掛けとなっている。

10月の学校連携報告。つるせ台小学校2年生が「みんなでつかう町の施設」で図書館見学に来てくれた。また、ビブリオノヴァのポスターは、対象が中学生以上（小学校高学年は親子で参加）となっているため中学校にも配布した。

図書館たんけん手帳について。昨年度行った図書館博士、いわゆる子ども司書講座である。分類の説明、OPACの使い方などを行っているが、なかなか集客ができず、手帳を作成するにあたり、隣接する小学校の司書教諭の先生に相談した。分類による色使いをつるせ台小学校と同じにする仕掛けもした。さらに作り込みをして図書館たんけん手帳として広げていきたい。

富士見市子ども読書コンクールPOP巡回展示について。近隣の小中学校のPOP作品を展示した。鶴瀬西分館は富士見台中学校、鶴瀬小学校、つるせ台小学校と受賞作品。関連本も並べて置いた。実際に関連本があることで繋がっていくと思う。

24日は西の日。前日11月23日は、いい富士見の日であり、それにもちなんで鶴瀬西分館の宣伝を行っている。

「子育ての知恵がつまったわらべうたであそぼう」について。申し込まれたお子さんの年齢が近いようA、Bの2グループに分かれて行った。Aグループは0歳児、Bグループは1歳児。妊娠中の方の参加はなかった。内容は月齢やその子に合わせて行っているが、わらべうたの意味を解説してお伝えしたところ、わらべうたが人生の奥深さを意味していることが、若いお母さんに響いたようだ。また、今回は音（節）のあるものも混ぜて行った。次回は3月に計画しており、おじいちゃん、おばあちゃん、お父さんにも参加いただけるような募集にしたいと考えている。

11月の学校連携について。関沢小学校、針ヶ谷小学校へ団体貸出。針ヶ谷小学校から3、2、1年生のブックトークの依頼があり出向いた。各学年で学習していることからヒントを得たり、季節の内容を考慮してテーマを組んだ。針ヶ谷小学校の図書室は日差しが入るととても暖かな図書室だった。ブックトーク後は子ども達と交流を持つことができた。

【質疑応答】

委員

数少ない職員数でこれだけのことをやっているのはすごい。特に針ヶ谷小学校へブックトークに行っているのは素晴らしい。水谷、針ヶ谷地域は図書施設が無いので、あいあいとしても水谷公民館で月に1回おはなし会をしている。針ヶ谷地域でおはなし会がないから来ているという方もいらっしゃる。

| | |
|------------|--|
| <p>図書館</p> | <p>わらべうた講座は広く広報しているようだが、どれを見て来たかというの追っているのか。紙媒体なのかネット情報なのか。</p> <p>若いお母さんなのでネットからの情報がいいのかと思い、HP や Facebook、すくすくナビなども発信しているが、それではないという印象がある。今回はキラリ財団の協力を得て、全公共施設にもポスターの配送をしたり、市にご協力いただき LINE 配信もして頂いた。更に恵愛病院やイムス富士見総合病院にもチラシを置いてもらった。わりと遠い所からきていただいた方もいらした。若いので SNS かと思っていたが、意外と紙媒体を見ている印象だ。</p> <p>またわらべうたの講師からの「今日はこんなことをしました。お家でもやってみてくださいね」というようなお手紙も、図書館からだしている。</p> |
| <p>委員</p> | <p>歴史講座で対象が中学生以上という事だったが、興味をもっている小学生が門前払いされることなく、所々難しい所はあったかもしれないが、自分なりに感じ取れることもあったと思うし、受講出来たことは本当に良かった。</p> |
| <p>図書館</p> | <p>推しは趣味から始まるという事もあり、講座をするのに一般講座か児童講座か迷うところがある。</p> |
| <p>委員</p> | <p>閉ざされているより広く開かれている方が良いと思う。</p> |
| <p>委員長</p> | <p>私もこの歴史講座に参加し、非常に良かった。受講後、資料館にも行ったが、こうやって繋がっていくのだと思った。</p> |
| <p>図書館</p> | <p>【ふじみ野分館】 資料に基づいて報告</p> <p>定例のおはなし会の中で10月9日の慶櫻ふじみ保育園4、5歳児では富士見市おはなしボランティアすぶんふるにお話を語っていただいた。保育園の先生からの要望もあり園児は集中して聞いている。映画会はほぼ子ども向けであるが、今年度は大人向けに年2回行う。その1回目として、あえて平日に行ってみた。結果9名の方が来て下さった。</p> <p>外部連携として、慶櫻ふじみ保育園、ふじみ野保育園の各家庭にぶんちゃんしんぶんを配布。今回都市型保育園ポポラーが図書館見学に来てくれた。また、勝瀬小学校、ふじみ野小学校の2年生も図書館見学に来てくれている。</p> |

ふじみ野児童館では例年のように赤ちゃんから楽しめる絵本を紹介させていただいた。

ふじみ野交流センター主催のふじみ野じゅくでは月のテーマに沿って関連資料を1ヶ月館内に展示しており、当日はブックリストと共に会場で展示している。

テーマ展示について。9月は世界アルツハイマー月間であり、市内3館で連携展示を行った。

11月は鶴瀬西分館から報告もあったように、富士見市子ども読書コンクールに応募があった勝瀬中学校、勝瀬小学校、ふじみ野小学校の作品を展示すると共に紹介された関連資料を館内に展示した。やはりPOPを見て現物を手にとって借りていかれる方もいらした。更に、読書月間であるので、うちどく展示も行った。

館内折り紙企画は、その月の行事に因んだ折り紙を子どもたちに折ってもらい、廊下壁面に飾る事を続けている。11月はスタンプラリーのみんなのおすすめ本の掲示をした。

ぶんちゃんひろばについて報告。ぶんちゃんひろばは子ども達にいろいろな体験をしてもらうよう、毎月様々な事を取りあげている。9月は行事食。1月から12月まで月毎に行事を取りあげ、子ども達と問答しながらすすめた。そして最後に9月のお月見に因んでお月見団子を作った。

10月はおみせやさんごっこ。小さい頃から金融リテラシーを身につけておくことは大切であり、遊びながらお金のことを学ぼうという企画である。講師はキッズマネースクール認定講師の3名。お金の歴史、外国のお金、自分がお店を開くときにどういうことに気を付けたらお客さんがたくさん来てくれるかと言うことを、講師が寸劇なども交えながら教えてくれた。後半は子どもたちには実際にお店を開店する準備を、親御さんにはライフプラン、教育費などについて話すというよく考えられたプログラムだった。この企画は弊社図書館流通センターが仲介となって開催募集をし、それに手を挙げた形である。講師の方からは、いろんな図書館で開催しているが、こんなに子ども向けの金融資料が沢山あるところはない、とほめていただいた。そして親御さんを中心に展示していた資料も沢山お借り頂けた。

11月は勝瀬中学校科学部とのコラボ「ドキドキわくわく実験教室」で、定員を多くして20名としたが、それでもお断りしなくてはならなかった。今回の実験も2つ。じっくり取り組む「砂鉄スライムづくり」と、比較的簡単にできる「ペットボトルに雲をつくる」だった。砂鉄スライムづくりは少し難しく、失敗するお子さんもいたが、科学部の生徒さんが原因を探し、再度作った時は成功することがで

きていた。またペットボトルの方は、皆が簡単に成功体験を積むことができるよい実験だった。

絵本の読み聞かせも中学生が行ってくれているのだが、今回は2人で分担を決め、読み方も工夫されていた。次回は2月を予定している。

一般向け講座として11月に薬膳講座を行った。昨年度は春、今回は秋、寒くなる季節に向かう体表変化、それに合わせておすすめ食材のお話があった。まずは、そのおすすめ食材を使った簡単薬膳料理を2人1組で作り試食、食べながら講師のお話を聞くという流れだった。8名という少人数だったので、和気あいあいとした雰囲気だった。昨年は作ったお料理は全てお持ち帰りだったが、今年は試食が出来良かった。

9月のふじみ野交流センター主催の勝瀬 de 縁日には図書館は3つ参加した。1つ目はおはなし会。2つ目は昔遊びの割りばし鉄砲づくり。たくさんの方が来てくれ、用意したものはすぐにはけてしまった。

3つ目は小学生ミニビブリオバトル。こちらは1学期から勝瀬小学校とふじみ野小学校にご協力をいただいた。ふじみ野小学校では5年生にむけてビブリオバトルのデモンストレーションとワークショップを行い、代表者を決めた。勝瀬小学校は前年度5年生が校内でビブリオバトルを行っていたという事で進級した6年生が出てくれた。観戦者については両小学校全児童にチラシを配ったが、小学生の参加は少なく、小学生の発表を大人が温かく見守るようなビブリオバトルとなった。また、チャンプ本投票集計時間では図書館がバルーンアートのレクリエーションも行い、関連資料も紹介した。地域全体で子どもも大人も読書に親しむことができればとの思いで、昨年度のふじみ野文化祭からビブリオバトルを行っており、地域で読書に親しむ環境づくりをしていければと思う。

10月の「魔女たちのハロウィンパーティー」は、季節に因んだおはなし会。語りあり、工作ありのプログラムで、今回はピニャータ割というものも行った。また、10月の衆議院議員選挙で中止となった子ども映画会で上映する予定だった16mm映画も急遽プログラムに加えたところ、大変好評だった。珍しい16mm機材を見られたこと、映画もおはなし会で見られたことが良かったようだ。

エアロボックス®について。こちらは年4回開催しているうちの3回目で、10月20日に勝瀬原記念公園で行った。春に続き近隣の福祉施設の方もこれに合わせて来てくれたり、公園のベンチに座っていたご年配の方もエアロボックスが始まると立って一緒に体を動かす姿も見られた。次回は2月に多目的ホールで行う。

続けて11月3日にも勝瀬原記念公園で秋のはらっぱおはなし会を行った。こちらも沢山の参加があった。スタンプラリー台紙を参加者に配ったところ、図書館に来館して下さった親子もあり、よいPRにもなったと思う。

11月17日には「五感でたのしもう！絵本と音楽」を行った。オトミックさん、勝瀬中学校演劇部と一緒に、音楽をつけて絵本を読んだりリトミックや手あそびを行った。一応の募集定員はあったのだが、それを越えた46名の参加があった。スキンシップや手あそびもあり親子で楽しんでいただけたと思う。

わくわくスタンプラリーミニはスタンプを10個集めてプレゼントをもらうものである。ポイントの貰い方は①本を借りる、②おすすめ本の紹介カードを書く、③絵本クイズに答える、④ポプラディアで言葉をひく、そしてボーナスポイントとして、落ち葉の種類を当てクイズをだした。それにより自然にも目をむけてもらえたのではないかと思う。参加者は延べ170人、ゴールしたのは56人だった。保育園の帰りにそのまま図書館に来てくれる子も多く、そういった子が2回3回ゴールしていた。これからも富士見市子ども読書月間を市と連携して盛り上げていきたいと思う。

図書館見学について。今回初めて都市型保育園ポポラーから依頼があった。年長5名が来てくれ、図書館の仕事についての質問も考えてあり、とても積極的に参加してくれた。また、10月30日には保育園のハロウィンイベントにも協力させていただいた。こちらとの連携も続けていけたらと思う。

小学校からは勝瀬小学校とふじみ野小学校の2年生の見学があった。ふじみ野小学校については予め質問を頂いていたので、この答えも盛り込みながらプログラムを組んだ。先生から昨年より説明項目が増えて良かったという感想も頂いた。

慶櫻ふじみ保育園のアニマシオンについて。コロナ禍前に年長組に対して行っていたが、今回再び行えることになった。発表会や小学校入学を前に子ども達が生き生きと発表できるように、という園長先生の思いもあり、アニマシオンはみんなの前で発表する事もあるので、そういったことも目標に行っている。3回予定している。

ふじみ野児童館での赤ちゃんから楽しめる絵本紹介について。お母さんを対象に新しい絵本、ロングセラーの絵本、科学絵本、絵本に関する雑学、作家さんがどのようにこの絵本を作ったかというネタを盛り込みながら紹介させていただいた。児童館さんから貴重な時

| | |
|-----|---|
| | <p>間を頂いているので、こういった機会を大切に、絵本の魅力を伝えさせていただけたらと思っている。</p> <p>【質疑応答】</p> |
| 委員 | <p>菓膳講座の台湾風ふるふるスープとはどんなものか。</p> |
| 図書館 | <p>豆乳の中にお酢を入れると少し固まってふるふる感がでる。少し酸っぱいスープである。</p> |
| 委員 | <p>ふじみ野児童館での赤ちゃんから楽しめる絵本紹介内の、ブックスタート事業の案内で富士見市のブックスタートの絵本と違うように思うが。</p> |
| 図書館 | <p>ブックスタート事業の案内として、普通サイズの4冊を紹介させていただいた。1歳児健診時に2冊選んでいただけることも案内している。その後に会場が大きいため大型絵本を使って読み聞かせをしながら本を紹介した。</p> |
| 図書館 | <p>3. 議題「地域資料の電子化について」(再)</p> <p>電子図書館に地域資料として、市制50周年で作った‘ふわっぴー’の絵本「ぼくの☆をしりませんか」と「富士見市お散歩マップ」(3部)が入っている。</p> <p>これらの閲覧数は200回を超えている。</p> <p>これ以外にどんな地域資料を入れたらよいか、ご意見を伺わせていただければと思う。</p> |
| 委員長 | <p>図書館では今後の予定はあるか</p> |
| 図書館 | <p>具体的なものはない。</p> |
| 委員長 | <p>意見はあるか。</p> <p>ないようなので、この議題はこれで終わりにしたいと思う。</p> <p>4. その他 (次回開催日決定)</p> <p>次回開催日 令和7年3月7日(金)に決定。</p> <p>5. 閉会</p> |